

# 日本経済中期予測（2021年1月）

大和総研 経済調査部

エコノミスト 久後 翔太郎

# 本日の内容

## ① 今後10年の経済見通し

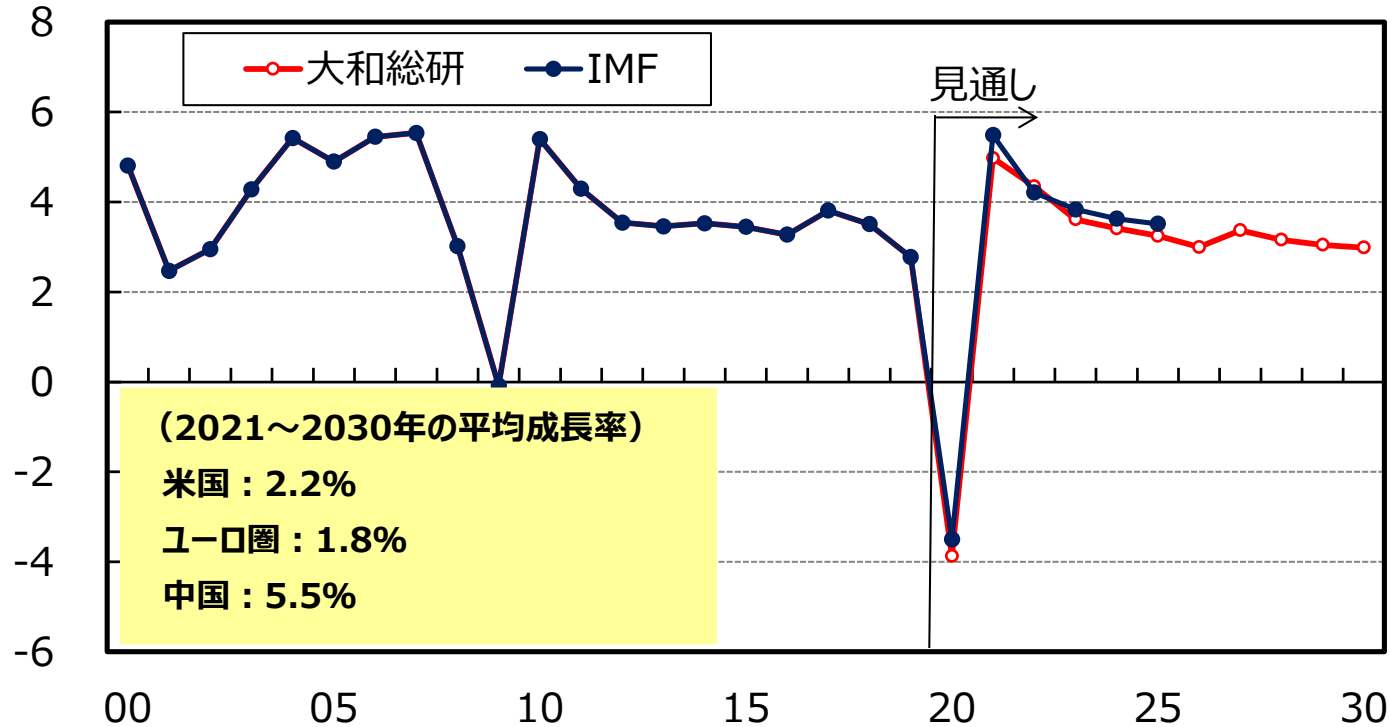
- ▶ 世界経済：年率3.5%成長
- ▶ 日本経済：年率1.4%成長

## ② グリーン化への取組

- ▶ 日本の実質GDPの水準を今後30年間1.2%押し上げ
- ▶ 【日欧比較】産業構造・職種転換の支援に違い

# 世界経済は年平均3.5%で成長する見込み

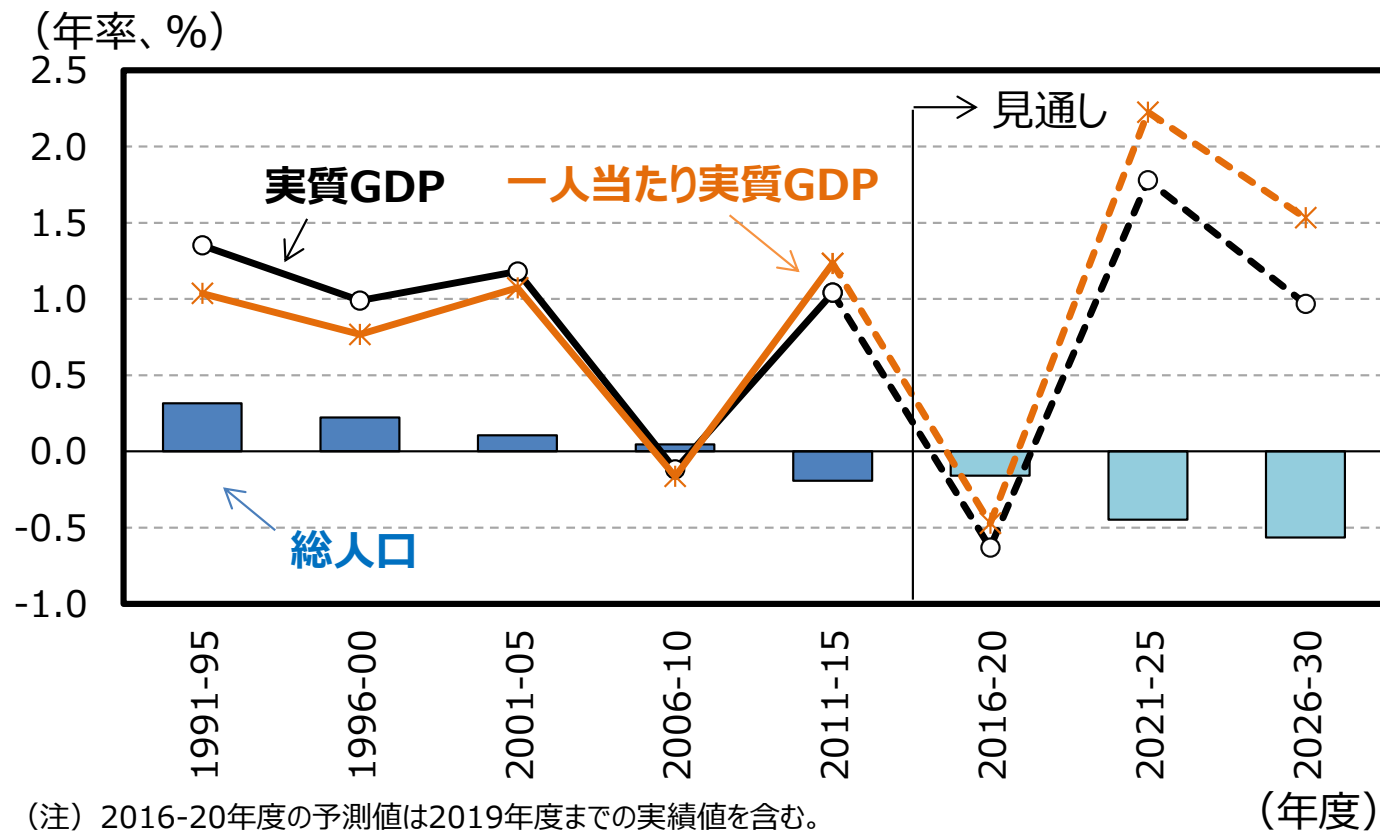
(前年比、%)



(注) IMF予想は2020年から2022年までは2021年1月時点、2023年以降は2020年10月時点の予測値。 (年)

(出所) IMF、Haver Analyticsより大和総研作成

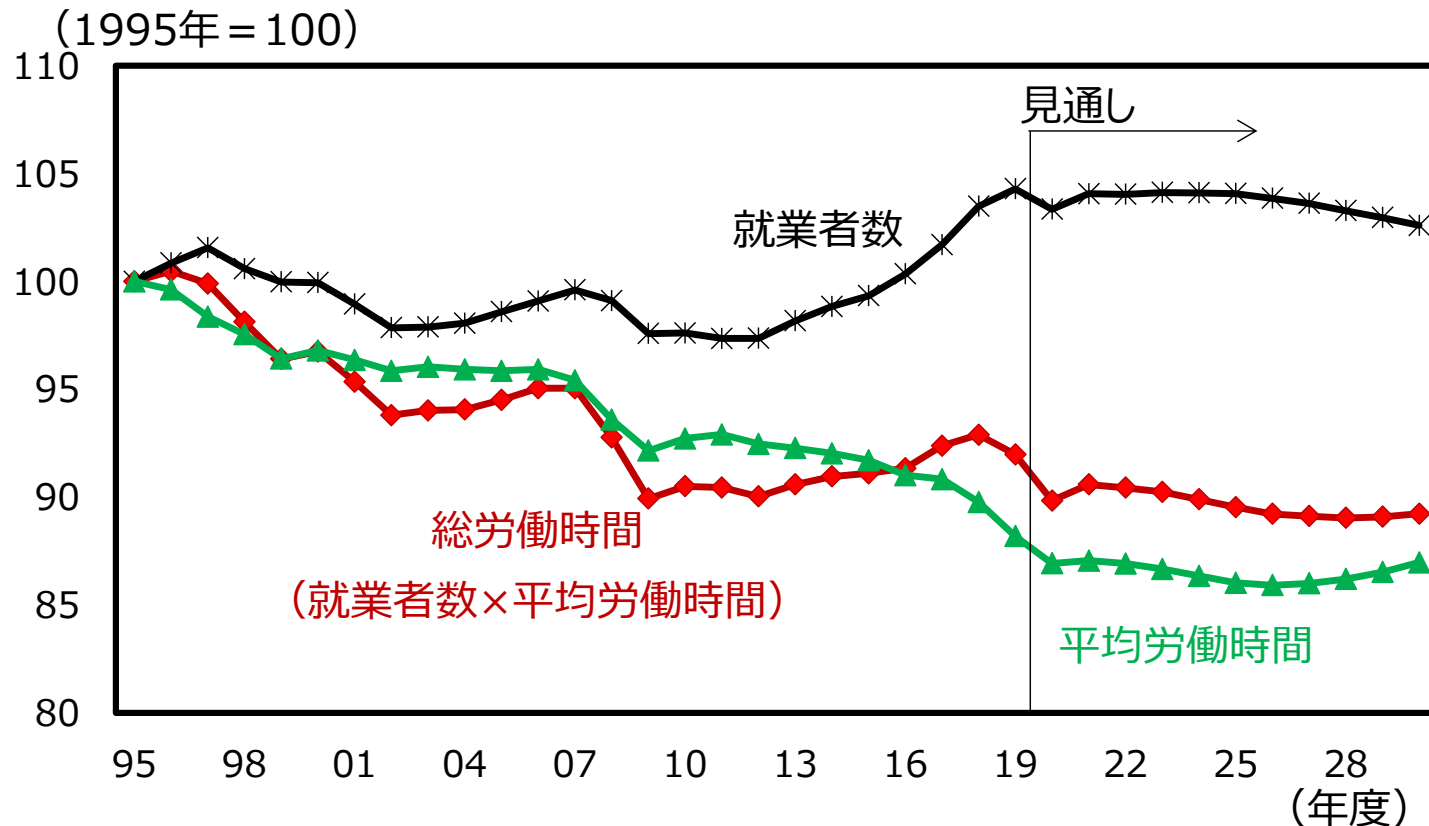
# 今後10年の実質GDP成長率を年平均1.4%と予想



(注) 2016-20年度の予測値は2019年度までの実績値を含む。

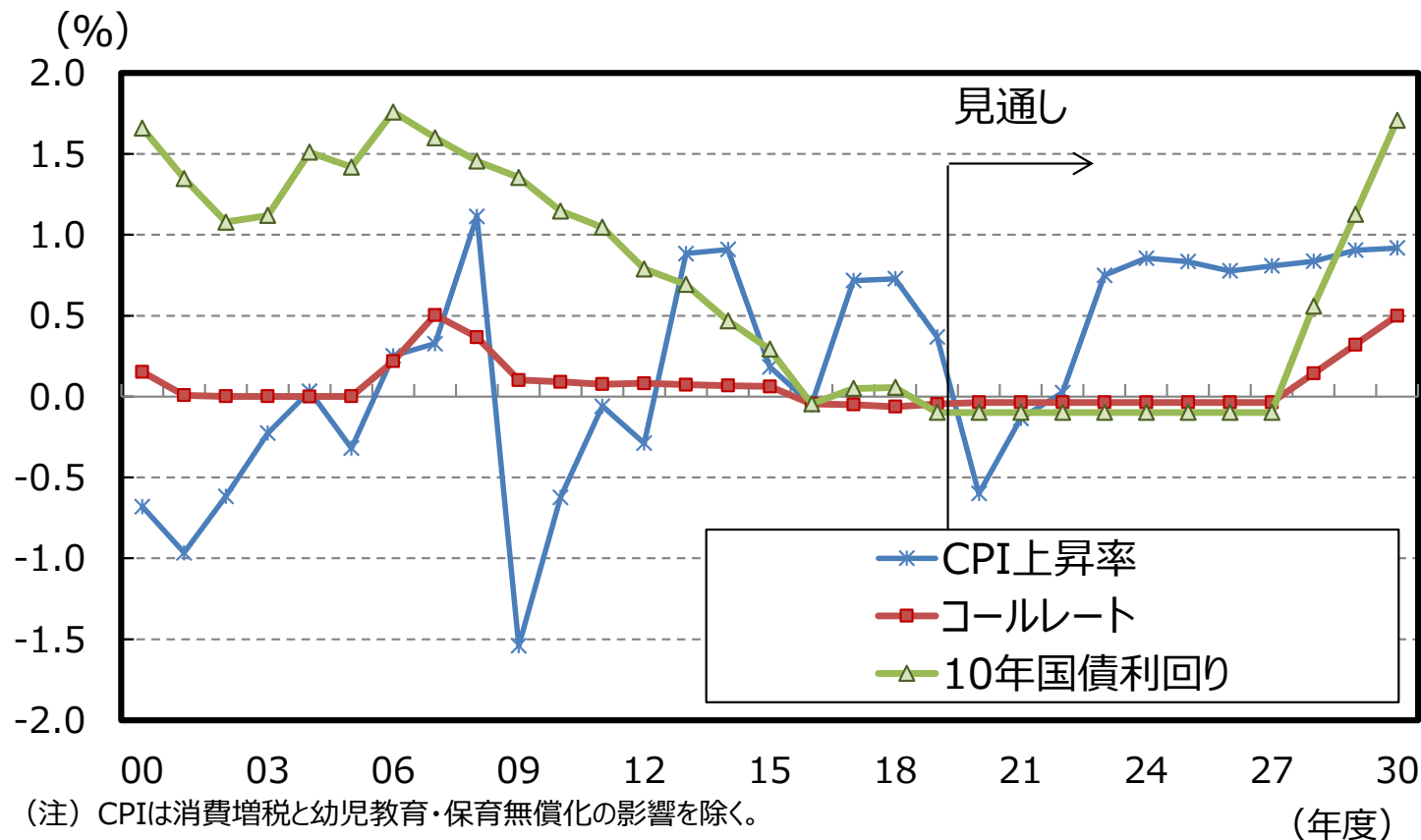
(出所) 内閣府、総務省、国立社会保障・人口問題研究所統計より大和総研作成

# 平均労働時間は増加に転じる可能性



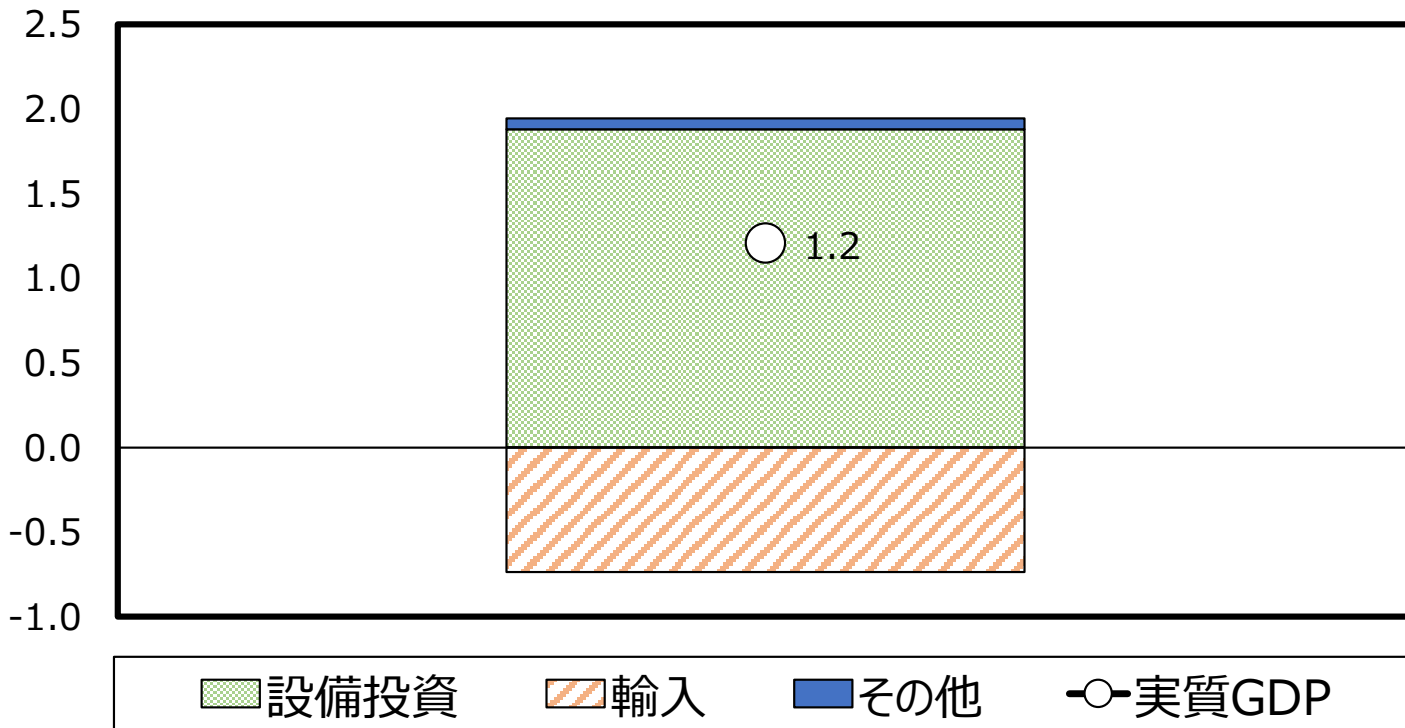
(出所) 内閣府、総務省、労働政策研究・研修機構、国立社会保障・人口問題研究所統計より大和総研作成

# 予測期間の後半に金融緩和政策の転換を見込む



# グリーン化によりGDPは今後30年間平均1.2%増

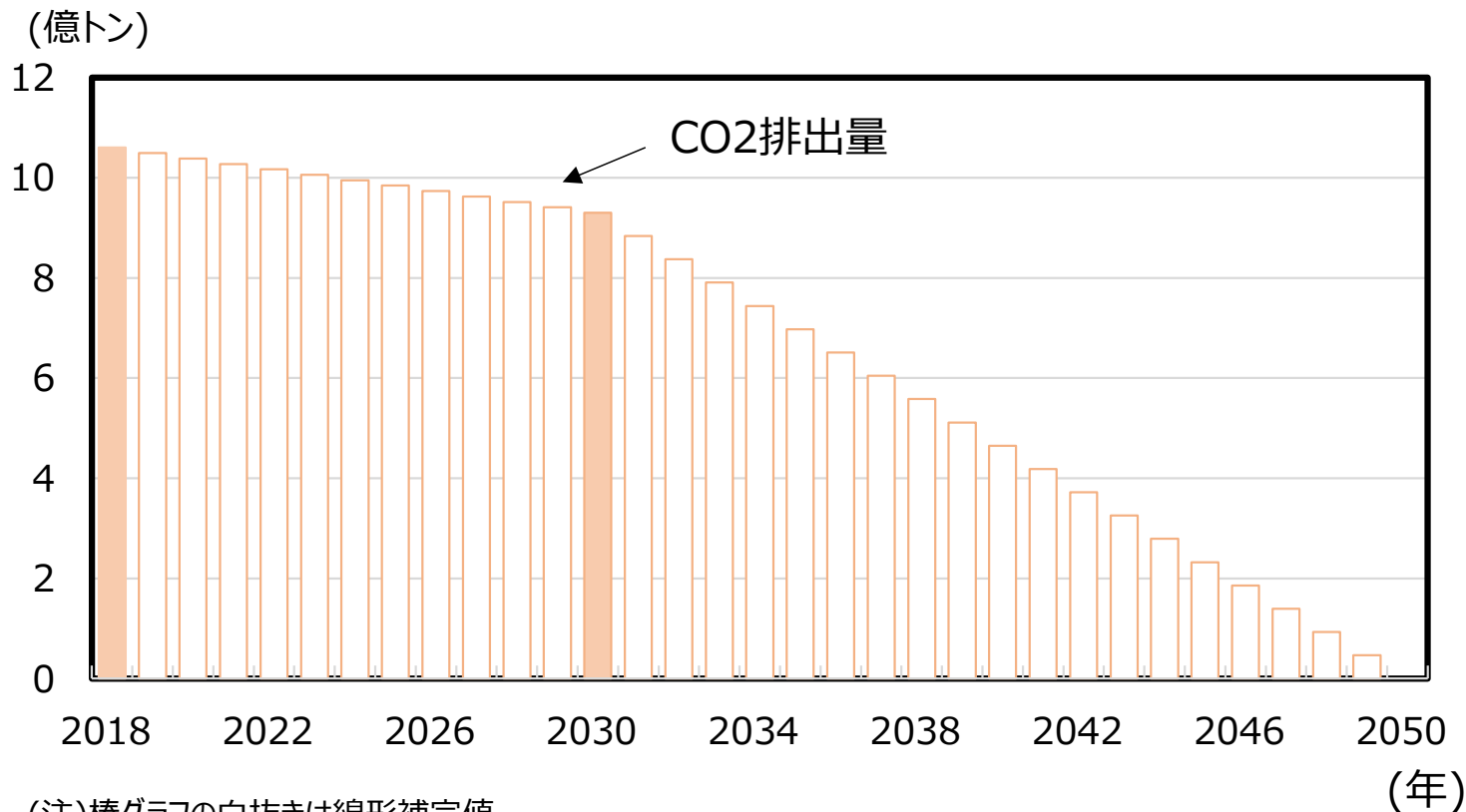
(エネルギー投資を実施しない場合の実質GDPとの乖離率、%)



(注) 2021年から2050年までの平均的なGDPの押し上げ効果。

(出所) 内閣府、欧州委員会より大和総研作成

# 2030年以降CO2排出量の削減ペースが加速



(注)棒グラフの白抜きは線形補完値。

(出所)「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」より大和総研作成

# EUと日本のグリーン政策の共通点と違い

## ① 共通点

- ▶ 水素産業や洋上風力発電等の新しい産業の開拓
- ▶ 第一次産業のグリーン化も重要戦略に位置付け

## ② 違い

- ▶ 産業構造の転換支援
- ▶ 職種の転換支援